



子どもたちが自慢できる学校を！

大塔っ子

佐世保市立大塔小学校

学校だより 校長 酒井元治

令和5年度 第13号 3月22日発行

令和5年度 第30回卒業証書授与式 校長式辞

ボケ防止のため、原稿を読んでいませんので、実際話したことと若干違っていることをご了承ください。



桜の季節もう間近、生命の息吹が感じられる春の日に佐世保市長代理、副市長：田中英隆様、PTA 会長：木村健之助様を始め、多くのご来賓のみなさまにご臨席を賜り、ここに99名の卒業生を送り出すことができますことを大変嬉しく、また心より感謝申し上げます。本日は公私ともにお忙しい中誠にありがとうございます。

お子様が元気にこの日を迎えられました卒業生ご家族のみなさま、誠におめでとうございます。小学校でお子様をお預かりしてから6年、ここに心も体も立派に育ったそれぞれの姿があることを皆様と一緒に喜びたい

と思います。また、この6年間PTA活動を始め、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。今その手に卒業証書をもらった気持ちはどんなものですか？今日は、私の話の前に皆さん一通の手紙を預かってきています。まずはそれを紹介します。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は6年前の入学のころからあなたたちを見してきました。平成30年の4月10日火曜日、天気は晴、91名での入学です。覚えていますか？朝からお父さん、お母さんに手を引かれ、真新しいランドセルを背中いっぱい背負ってこの校舎の玄関に入ってきました。くりんくりんの坊主頭に付けられないネクタイ姿で回りをきょろきょろ見回している男の子もいれば、朝からお母さんに束ねてもらったかわいらしい髪型でお澄まししている女の子もいました。

その後のあなたたちといたら、元気いっぱい、広い運動場を駆けまわったり、テラスに出て遊んだり。でも、やっぱりしばらくすると徒歩での登校に泣き出してしまいうちもいました。登校班の班長さんが構ってくれないと、班長さんを困らせる子も。泣きじゃくった顔で登校したかと思うと、すぐにみんなと遊びだし、無邪気な笑顔になる子もいましたよ。そう、それがあなたたちの6年前の姿です。

91名で入学してきたあなたたちですが、ここに至るまでにいくつもの出会いと別れを繰り返してきました。せっかく仲良くなった子が転校するとき、お世話になった先生が学校を去っていくとき、あなたたちが涙していた姿も私は見ていました。逆に仲間が増えたときのうれしそう顔と既にでき上がった集団に一人で入っていく不安そうな顔。いろいろな別れと出会いの中で、あなたたちは多くのものを学んできました。

そして、最高学年になったこの一年。あそこ登校班の班長さんを困らせていたあなたたちが低学年を気遣いながら優しい笑顔で登校してくれる姿を見て優しさと心強さを感じました。

この一年はあなたたちらしい素晴らしい最高学年だったこと、私はしっかり見ていました。吹き荒れる風雨の中、慣れない長崎の町中を友だちと散策した修学旅行。傘もさせない状況の中、それを笑いに代えるたくましさ。横断歩道で困っている親子に優しく手を差し伸べてくる人たちもありました。

そして、何と言っても全校をリードした運動会。朝から応援合戦の練習をする頼もしいあなたたちの声を、私は中庭でじっと聞いていました。クラスが一つになることのすばらしさ、勇ましくも凛々しい六年生の姿、そんな姿をこの学校の伝統として残してくれた一年間です。応援合戦の姿、真新しい法被で悠々と舞ったよさこいソーラン、在校生はその姿を見て「こんな6年生になりたい」と思ったことは間違いありません。

実は私は、この学校の設立当時からその時々々の6年生の姿を見てきました。今日のこの風景も30年間繰り返されてきた風景です。その中にはあなたたちのお父さんやお母さんの姿もありました。その30年の歴史の中で、あなたたちはどこに出しても自慢ができる卒業生であることを私は断言します。

さて、ここまで話すと私が誰かわかりましたか。低学年だったあなたたちは、私の子どもたちを拾ってはおもちゃにして遊んだんですよ。そう、私はこの学校のシンボルツリー、中庭のクヌギの木です。あなたたちがドングリと呼んでいる木ですよ。

6年間見守ってきたあなたたちの姿を誇らしく、大変うれしく思います。ご卒業おめでとう。そして、この学校にまた一つ伝統を作ってくれてありがとう。

中庭のクヌギの木より

さて、この中庭のクヌギの木、今では校舎の屋根の高さまで伸びています。こんな大きな木がさまざま嵐の中でも立っていられるのは、どうしてだかわかりますか？

一つは、しっかりと大地に張った根があるからです。人間に例えれば、ものの見方、考え方の根本です。これはあなたたちがこの小学校で学んできたことと同様のことだと思います。

もう一つは、枝のしなやかさです。強い風が吹くときに、微動だにせず真っ向から風に立ち向かっていたのでは、折れてしまいます。うまくしなること、時には古い枝や葉っぱを落とすことだって必要です。これは、私たちの人生にだって言えることです。これからあなたたちが飛び込む社会の中には、自分に心地よい風もあれば、自分の考えとはそぐわない強い風だってあるはずですよ。何を例えて言っているかわかりますか？人との付き合い方です。他人と反発し戦うだけが強さじゃありません。ときにはうまくかわすこと、うまくいなすこと、たまには自分の古い考えを捨てる勇気だって必要になります。じゃあ、風がないといいかと言えばそうではありません。風がないと空気がよどんで、樹木は枯れてしまいます。人間だってそう、いろいろな風を受けて育つんです。その力をつけるのが中学校だと思っています。

小学校で身に付けたしっかりとした根の上に、青竹のごときしなやかさを学んでください。あなたたちがこれまでより多い出会いの中で、大きくたくましく育つことを心より願っています。卒業おめでとう。

最後になりましたが、ここにご臨席の皆様のご健康とご多幸を願い式辞といたします。

令和6年3月18日
佐世保市立大塔小学校長
酒井 元治

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。4月から新しい年度が始まりますが、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。